

社内報 7月号

2020も後半に

2020は、2月中旬ごろから、会議、集会などが中止となり、3月頃から自粛モードで、4月、5月は、完全自粛状態となっていました。6月から、活動が再開されてきましたが、気が付けば、もう半年です。このまま、1年が終わってしまうのは、あまりにも寂しいし、もったいないです。我々も感染症が蔓延する経験はなく、よくわからず、なんとなく流されて自粛していますが、すべてを自粛するようなことは全く無意味ではないでしょうか。コロナで、新しい生活様式といいますが、それは生活の中の枝葉末節が、ちょっと変わるだけで、人間の本質が変わるものではありません。むしろ、人が何を求めているのか、これから先、どのように生きたいのか原点に戻って、じっくり考えてみるべきだと思います。会社としても、個人個人としても貴重な1年ですから、無駄にせず、前向きに楽しみましょう。コロナウイルスで年間に亡くなる人より、交通事故で亡くなる人の方が、多いのであって、交通事故に注意する程度にコロナに注意しながら、運動不足、活動不足などないように、後半戦ふる稼働で、アクセル全開で、走り回るような気持ちで行いたいと思います。

岐阜営業所地鎮祭

6月17日に、設計会社様、建設を請け負う会社様、そして当社から5名が参加して、新岐阜営業所の地鎮祭が行われました。梅雨の合間でしたが、さわやかに晴れ上がり、広くなった敷地で、厳かに執り行われました。6月中に現地に建設事務所を設置され、7月よりいよいよ着工です。



北陸営業所風除け設置

新しい北陸営業所は、海に近づいたからか、風の通り道なのか、風が強く、玄関扉を開けると風にあおられることが多く、安全のために風除けを設置しました。北陸営業所で行った海岸に近い塩ビシート防水工事でも、通常のディスクピッチでは、風荷重に負けてしまい増し



打ちをしたことがありますので、北陸の海岸近くは、風が大変強く、通常的设计(今回はドアクローザ一強度)では対応できないことがあることがわかります。

株主総会

株主総会が、6月20日(土)に例年通り、名古屋市中区にある栄ガスビルで行われました。例年に比べ少ない出席者でしたが、ほぼ例年どおりの約30分間で、報告事項の説明、議案の採決が行われました。質問は3問あり、議案は原案どおりすべて承認可決されました。

賃貸収入増

不動産課で購入した中古マンションを一旦賃貸借契約しているものや、旧本社やBW浅草橋ビル空きフロアの賃貸収入など、賃貸収入が増えてきています。全体で、年間3000万円ぐらいまでになりました。今後も、良い不動産があれば、収益物件として保有をすることも視野に入れて購入し、安定収入源を増やしていくことを考えています。現在は、コロナの影響で経済状況はマイナス基調で、昔のように地価が上昇するようなことは考えにくく、むしろ下落していく可能性もありますので、よく吟味していくことは重要ですが、一方、低金利の少子高齢化時代で、経済が右肩上がりになることもまた期待薄ですので、安定収益源を作っていくことは、価値あることであります。一気に増やすようなことではなく、徐々に良い不動産物件を保有できるようにしなければいけません。

ナゴヤドームチケット無効

新型コロナウイルスの拡大で、プロ野球の開幕が遅れていましたが、6月19日に無観客で待望の開幕となりました。無観客ですが、毎日テレビ中継があり、結果が報道される日常は、やはり楽しみがあります。7月中旬より、観客を入れての試合が計画されていますが、最初は観客を減らしての試合になるようですが、詳細は未定で、運営を行う方も大変なことと思います。当社もナゴヤドームのシーズンチケットを購入していますが、いくつかの選択肢がある中で、なかなか試合を見に行くことは難しだろうと今年度に関しては、すべて無効にして、来年度に回していただくことに決めました。よって、今年は試合観戦をすることはできません。今シーズンは、テレビ中継や、リモート応援で、中日の試合をお楽しみください。

デアール店でイベント実施

6月最後の週末に、デアール奈良店とデアール瑞穂通店・名古屋東店合同で、それぞれメーカーさんのショールームを利用してリフォームイベントを開催しました。コロナウイルスにより長期間こうした販促活動が出来ずにいましたので、本当に久々の開催でした。お客様が来ていただけるか、不安な面もありましたが、大勢の方にご来場いただき、見積もり依頼も多かったです。ほっとするとともに、お客様に感謝です。

コラム「仕事のONとOFF」

当社は、仕事のONとOFFをつけ、仕事を行う時は集中して仕事モードで、OFFは仕事から解放されてという考え方でやってきました。仕事と個人をごっちゃにすることを好まない、公私混同をしないという考え方は、携帯電話や業務用車両の管理などもそうした考え方からきています。一方、在宅勤務というのは、これに逆行する考え方だと思います。企業などない時代、農家さん、漁師さん、商人などは、仕事と家庭が一体で、子供をおんぶしながら働いたり、子供も親が一生懸命に働く姿を見て育ったのだと思います。今でも、そうした職業の方は、そうした働き方をしており、それが悪いわけではありません。そして、明治維新があり、また戦後の復興で、企業で働く人が増えて、職場というのが一つのコミュニティーを形成するようになってきたと思います。それでも昔は、職住一体的要素が結構あったと思います。炭鉱や企業城下町などは、職場のそばに住居が出来、建設現場でも現場の敷地に飯場が作られました。高度経済成長が終わり、バブルになる頃から、職住一体型を見直し、個人の生活を尊重しようとなっていったと思います。建設現場でも現場事務所とは少し離れた所に社宅を借りるようになってきました。確かに、少しでも通勤すると、気分転換になり、昔のような働き方より、進歩したような気になりました。効率的に働くために、職場環境は業務効率があがるように整え、個人の生活も大切にすることでモチベーションの維持に努めようとしてきたと思います。これが、また在宅勤務をして、コロナが終わっても継続しようというのですから、時代に逆行しているわけです。都心部への過度な集中で、長時間通勤が非効率という要因も大きいと思いますが、街づくりの問題は、ここでは考えないことにします。気を付けるべき点

は、農家さんや自営業の方は、昔から在宅勤務ですが、彼らは時間で賃金をもらうのではなく、成果で稼ぎが決まる職業ということです。また、事務的職業で在宅勤務している人はフリーランスや士業と言われる方で、時間ではなく成果で稼ぐ人たちでした。今まで、企業に勤め、時間で給与をもらう人で、在宅勤務の人は基本的になかったのではないのでしょうか。それが、コロナでなし崩し的に在宅勤務になり、意外にできるとなりました。事務職の在宅勤務者にアンケートをすると、変わらず仕事ができ、継続したいという人が、多くを占めたという報告がありました。それは日本企業のホワイトカラーの生産性の低さを表していないのでしょうか。国際競争の中でまさに淘汰されていくか、企業が今後を見据えてリストラを考えている部分ではないのでしょうか。米国は、年収が日本円で380万円以上になると、残業をつけずに成果で雇用契約できるそうです。日本は、自民党が言い出して野党が反対したホワイトカラーエグゼンプションは、結局年収1075万以上でなくては対象になりませんから、基本

的に在宅勤務でも時間管理が必要です。成果での評価が必要なのは、理解していても、法律の面でも日本は難しく、解雇制限の面でも日本は制約が多すぎ、このままの状態、日本企業が在宅勤務を進めると、さらに生産性の低下につながらないでしょうか。企業は、そのうち、在宅勤務出来る仕事は、今までそうだったように業務委託したくなると思います。当社でも、最初は教育期間として日給で働いてもらっている職人さんたちが、そのあと独立していく理由を考えれば良く理解できると思います。社員は、ルーティンの仕事も実際は多いと思いますが、一方で日々の変化に対応し、改善を繰り返し、チームで働いているので、自分の仕事以外にもできることがあれば率先して行い、無駄な仕事の見直しも行い、教育的側面もあり、突発的なことにも進んで対応していかなくてはなりません。ですから、請負として行う業務とは違うわけで、そうした献身的態度が自然に備わっているところが日本人の良さであり、個人主義の強い外国人に比べ、集団で働く方が、日本人の良さが発揮され

るように思います。個人主義的な働き方を、中途半端な制度の中で、導入しても、それが制度的に進んでいる諸外国に勝るとは思えず、日本人として、サービスの良さ、おもてなしの細やかさなどが発揮できる方法を考え、献身的な働き方を進めていく方が、国際的にも日本の優位性、独自性を高め、結果として企業業績も向上し、働く日本人にとっても幸せのように思います。企業に勤める人は、職場でプレッシャーを感じながら仕事をするともあると思いますが、緊張感のない仕事では、やりがいも達成感もないでしょう。ONがないとOFFもありません。企業人は、時間管理もされており、緊張感の中にあり、こうした職業にはONとOFFを上手につけることが、仕事効率、精神面でも必要だと思います。もし在宅勤務を時間管理という制約の中で、長期的に、心身両面で健康的に、仕事効率を高め、日々の変化に対応し企業競争に勝ち抜いて進めようとする、どのようなスタイルになるのでしょうか？結局、今と大差ない？

施工事例紹介

- 施工場所 岐阜県瑞浪市
- 工事名 A様邸トイレ改修工事



施工前



施工後

- 担当 建設事業部 各務原店 藪下 澄男

A様邸のトイレは間口がもともと広く、広さの有効利用とお年寄りの方が見えるので、使いやすさ、快適性を考慮しご提案させていただきました。立ち座りの移動を楽にする柵手すりを一体とし、自動洗浄、自動開閉のフルオート式。サイドに手洗いキャビネット、スリム鏡の取り付け。壁には西一面エコカラットを張り付けることにより、湿度を保ち優れた空気洗浄力を発揮します。使いやすく、掃除も楽になり、お年寄りにもやさしいトイレに仕上がりました。

ビルワークによる
本社ガラス清掃



ちょっと一言

「豆柴のモモ」

東京事業部 東京西営業所
向井 雅美



お疲れ様です。東京西営業所の向井です。

皆さんは動物保護団体という施設を聞いた事がありますか？飼育放棄や多頭崩壊・繁殖リタイアや保健所から殺処分などの動物達を保護する施設です。私も趣味繋がり仲間からの影響で、昨年10月から元繁殖犬の里親になりました。豆柴のモモです。繁殖犬とはペットショップの裏側で子供を産むためだけに飼われる犬です。パピーの頃から狭いケージに詰めこまれ外にも出してもらえず、出産の際は医師の免許をもたない人間が雑にお腹を切り縫合します。劣悪な環境で体調不良になっても健康管理はされず、子供が産めなくなると殺されるか捨てられます。

モモがうちに来た当初は散歩やボール遊び、物を口で啜る事も、走る事も出来ず筋肉もありませんでした。男性や物音、車の音や風で揺れる物も雪や雨も…見るもの全てに怖がり成犬でもパピーと同じでした。そして、うちに来て半年近くたった頃、少しだけ慣れてきて家の中で遊ぶ事ができ、撫でて欲しくて甘えてきたり、アイコンタクトを送ってきたり感情が出てきて表情も豊かになってきました。5歳(推定)で初めて自由になり、やっと犬らしくなってきたのです。今では家族の話も理解し、必ず私の側にいてかけがえのないパートナーになっています。

保護犬は苦労してきた分、我慢強い子が多いと言われています。初めは怖がり思い通りにならないかも知れませんが愛情をかけると絶対に応えてくれ信頼関係が湧きます。

私の生活はモモが来てくれたおかげで早寝早起きの規則正しい生活に変わり季節を感じる事ができ、ますます人との交流も増えとても充実した日々です。趣味のランニングは休んでいますが、今後の夢はモモと一緒に走る事。モモが外を走れるようになるまで…私の小さな願掛けです。

最後に皆さんの家でペットを飼う予定がありましたら、ぜひ保護犬や保護猫の選択肢を入れていただきたいです。きっと素晴らしいパートナーになると思います。